

あぐい

第157号

平成25年5月1日発行

議会だより



南部小学校のなかよし集会（じゃんけん列車）

-  2P・3P 主な議決内容
-  4P・5P 平成25年度予算
-  8P 常任委員会レポート
-  9P 一般質問
-  18P 学校紹介「南部小学校」

平成25年 第1回定例会

否決

阿久比町道路線の認定及び
廃止に対する修正動議

提出者 杉野 明議員

認定道路線19路線のうち、2401号線を今回の認定路線から削る。

反対討論

竹内 一美議員

総務建設委員会で、充分審議が尽くされた。

町道2401号線の認定のみ削除し、それに伴う2263号線だけが廃止されることは不合理であり、地元的生活基盤がなくなり、不利益なこととなる。

賛成討論

辻 忠男議員

問題となっている道路は、明かに開発行為が行われているとの印象を得た。

控え目に見ても、1000㎡を超えており、阿久比町土地開発行為に関

する指導要綱から外れている。

反対討論

山本 和俊議員

この認定路線は、既設の行き止まり道路を通り抜けができる道路整備に向けた強い地区住民の要望である。

これ以上、疑惑の憶測で問題を大きくすることは、地区住民の願いを無視することになる。

賛成討論

澤田 道孝議員

今回の道路築造が、建築を目的として、この道路を利用し、一連の宅地の中で建物が建てられると、都市計画法29条の違反となるのではないか。今後の都市計画法の運営ということについて、莫大な疑惑を持ちかけるものだと思う。

可決

阿久比町道路線の認定及び廃止

反対討論

杉野 明議員

問題の道路を現地確認したが、町の答弁と現況は著しく異なり、到底認定できない。一点の疑念もないように、正規の手続きをされることを望む。立ち場の違いで法解釈が異なり、現段階で判断するには拙速すぎる。

賛成討論

渡辺 和幸議員

問題の2401号線は道路築造のための土砂搬出である。

町は現地確認をし、愛知県も確認をされ、最終的に町は開発行為に当たらないと判断した。

公有財産審査会でも了承され、寄附採納願も出されており、適切と判断する。

反対討論

辻 忠男議員

明かに阿久比町土地開発行為に関する指導要綱から外れている。

すでに上水・下水のマンホールを含めた設備が完成している。

今からでも開発行為の手続きを事業者に求めることが必要。

賛成討論

沢田 栄治議員

町道は、日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保を図るために、道路の新設や修繕が行われるものである。

今回の議案は、地域住民の利便性の向上に叶ったものであり、道路線の認定及び廃止は適切であると判断する。

反対討論

澤田 道孝議員

この道路が、建物を建てる目的であったということは明らか。なぜ、道路築造だけに目を当てたのか、私は非常に疑問が残るところだ。

都市計画法29条のすり抜けに加担した本町の姿勢は、非常にあるまじき行為である。

賛成討論

鈴木 一夫議員

今回はあくまで道路の築造であり、都市計画法第29条の適用は受けたいとの説明があった。

築造工事であるなら、申請時に本町の道路構造令の基準に基づいた指導が必要であったが、長年の地域住民の方々の要望を鑑みて賛成とする。

平成25年度阿久比町一般会計予算

反対討論

杉野 明議員

賛成討論

久保 秋男議員

反対討論

辻 忠男議員

賛成討論

竹内 一美議員

反対討論

澤田 道孝議員

賛成討論

都築 重信議員

15億を超える財政調整基金がありながら、地域懇談会等で出された住民要求が実現されていない。

また、地方分権化で地方自治体の仕事が増える中、パート職員数が年々増えてきているが、住民要望を本気で実現させるためには、専門的なことに十分対応できる職員を増やすべき。

60周年記念事業のプレミアム商品券は、大型店に吸収され個人商店の支援にならない。

大変厳しい経済状況の下で、災害に強いまちづくりを念頭に、阿久比町の発展と住民福祉の向上に配慮し、町民負担の軽減を図るための施策を積極的に取り入れた予算編成であり、期待する。

①阿久比町がとるべき町民の安全・安心の人命尊重の施策が不十分。(例)放射能測定が実施されない。

②医療・福祉に対する町民からの要望の実現が不十分。(例)国保税軽減がなされない。

③生活保護費が引き下げられるが、市町で判断する部分の水準を落とさないことを強く求める。

阿久比町に住んでよかったと思える施策を全力で推進することを強く求める。

新庁舎の早期完成を目指すし、着実に事業を推進していくことは大変評価できる。

また、災害対策の支援として、簡易無線機を各自治会へ配備することは、町の災害対策本部との通信手段を確保し、いち早く必要な対応を行うことができ、町民の安心・安全を確保する施策であると考えている。

小・中学校の各教室に、エアコンを設置せず、昔ながらの知恵である水打ちなどを活用し、子どもたちに暑いときはこうするんだと教えるのが義務教育ではないのか。

緑のカーテンやミストなど、様々な工夫を凝らしたうえで、最終的にエアコンを設置すべき。

つらいことに耐え、将来日本を背負って立つ、立派な人間になるために、すぐエアコンに頼ることは大反対である。

阿久比町の将来を担う子どもたちの、保育・教育環境の向上(空調設備の整備)に力を入れている。

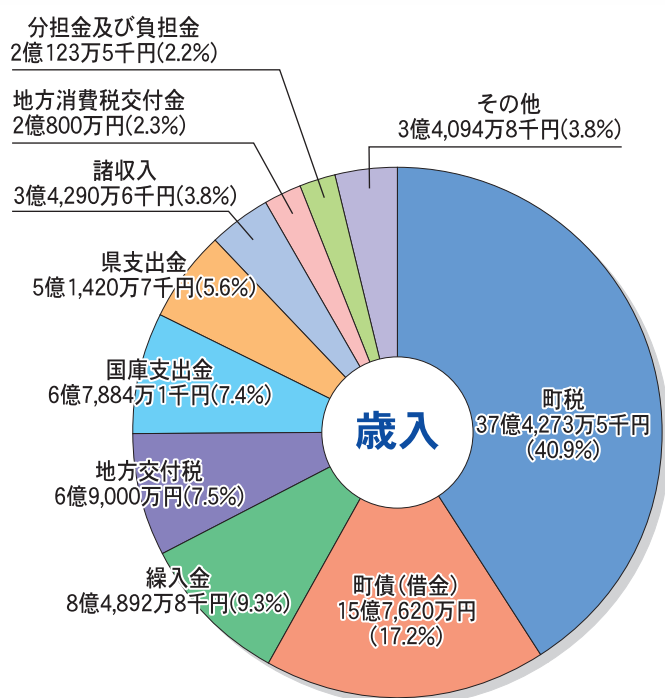
また、町内の主要な所に防犯カメラを設置し、各種犯罪の抑制につなげる防犯対策も期待できる。災害対策でも、災害弱者に対する備蓄品の充実など、町民に対しての優しさのある取り組みは評価できる。

阿久比町の発展と町民の皆さまのご要望にこたえられるよう、最善を尽くすようお願いする。

一般会計予算

前年度比13.7%増

新庁舎建設事業や町制60周年記念事業など



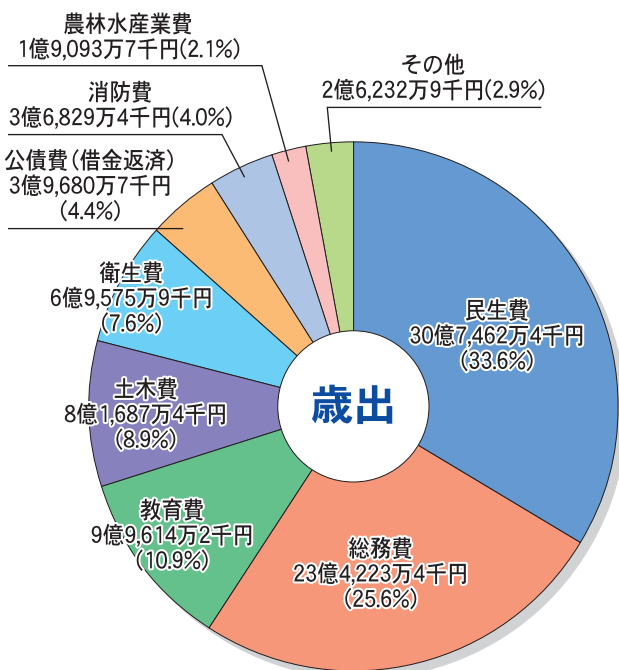
前年度と比べ増額となったものは、町債(借金)が6億2380万円の増、繰入金が2億9292万8千円の増などである。これらは、新庁舎建設に必要な財源を確保するためである。

反対に、前年度と比べ減額となったものは、地方交付税が4千万円の減、地方譲与税及び利子交付金が、ともに300万円の減などである。

歳入

前年度と比べ増額となったものは、総務費が13億8407万9千円の増、土木費が1億916万7千円の増などである。総務費は、新庁舎建設工事にかかる費用が計上され、土木費は道路新設改良事業費が増えている。反対に、前年度と比べ減額となったものは、民生費が3億8525万1千円の減、公債費が6706万9千円の減などである。民生費は、平成24年度に英比保育園の建設費が計上されたため、また、公債費(借金返済)は、償還が終了した事業があったためである。

歳出





平成25年度予算

91億4,400万円の



取り壊しが予定されている中央公民館南館

新庁舎建設事業
約15億円
(平成25年度分)

町制60周年記念事業
こんな事業を予定しています



プレミアム
商品券

田んぼアート

花火打ち上げ

女性議会

記念式典

キャンドル
ファンタジー

子ども議会

山車まつり

消防団
階梯操法
かい てい

特別会計と企業会計

平成25年度阿久比町の5つの特別会計と企業会計（水道事業）の予算額と前年度対比は、次の表のとおりである。

平成25年度 会計別予算

区 分		平成25年度予算額	平成24年度予算額	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計		91億4,400万円	80億4,100万円	11億300万円	13.7%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	25億9,295万3千円	25億2,096万2千円	7,199万1千円	2.9%
	土 地 取 得	13万9千円	16万7千円	△2万8千円	△16.8%
	下 水 道 事 業	5億7,450万円	6億3,900万円	△6,450万円	△10.1%
	介 護 保 険	15億4,391万8千円	14億3,454万3千円	1億937万5千円	7.6%
	後 期 高 齢 者 医 療	2億6,528万1千円	2億5,452万8千円	1,075万3千円	4.2%
	小 計	49億7,679万1千円	48億4,920万円	1億2,759万1千円	2.6%
水道事業会計(支出ベース)		8億7,718万5千円	7億5,959万9千円	1億1,758万6千円	15.5%
合 計		149億9,797万6千円	136億4,979万9千円	13億4,817万7千円	9.9%

同意

教育委員会委員の任命

い し い か つ み

石井勝巳氏（草木）

平成25年4月1日より就任（新任）



平成25年4月1日に開かれた教育委員会で、新しい教育長に選ばれました。

視察研修報告

地方議会の制度と運営の実務研修

議会運営委員会

平成25年1月24日～25日 大阪市西区の大阪科学技術センターに於いて、講師 地方議会研究会代表 野村 稔氏の『すぐに役立つ議会運営と活性化のノウハウ』戦前・戦後の議会の変遷、議会の役割、議会運営委員会の有るべき姿等議会人としての責務を学ぶ機会となった。

2日目は「効果のあがる議会広報」多くの住民は、議会広報を読んでもいないと言われるが、何が原因なのか。どうすれば、議会広報が住民に浸透するか。広報の技術論だけではなく、解決できない部分のレクチャーを受け、本町の「議会だより」の充実に役立てたい。

（久保秋男議員）



講義の様子
（大阪科学技術センターにて）

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

議案

◎ 阿久比町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

阿久比下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

◎ 阿久比町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定

◎ 阿久比町災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部改正

◎ 阿久比町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定

◎ 阿久比町暴力団排除条例の一部改正

◎ 阿久比町一般職の職員定数条例の一部改正

◎ 阿久比町立保育所設置及び管理条例の一部改正

◎ 障害者自立支援法の一部改正等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

◎ 阿久比町国民健康保険条例の一部改正

◎ 阿久比町道路路占用料条例の一部改正

◎ 阿久比町立地区公民館の管理に係る指定管理者の指定

◎ 阿久比町情報公開条例及び知多都市計画

◎ 阿久比町立区民館の

管理に係る指定管理者の指定

× 阿久比町道路線の認定及び廃止に対する修正動議

◎ 阿久比町道路線の認定及び廃止

(賛成3名 反対12名)

◎ 阿久比町道路線の認定及び廃止

(賛成11名 反対4名)

◎ 平成24年度阿久比町一般会計補正予算

◎ 平成24年度阿久比町一般会計補正予算

◎ 平成24年度阿久比町一般会計補正予算

◎ 平成24年度阿久比町一般会計補正予算

◎ 平成25年度阿久比町下水道事業特別会計予算

◎ 平成25年度阿久比町介護保険特別会計予算

◎ 平成25年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算

◎ 平成25年度阿久比町水道事業会計予算

同意案

◎ 教育委員会委員の任命

陳情

◇ 商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充

議案

◎ 平成24年度阿久比町一般会計補正予算 (賛成14名 反対1名)

反対討論

澤田 道孝議員

阿久比中学校をベースに、今回の南部小学校へのエアコン設置を考えたとのことだが、エネルギー源の多様性や、消費電力のピーク時の対応などが考えられていない。

賛成討論

大村 文俊議員

今回の補正は、国の交付金に対して即座に対応し、1年前倒しで小学校にエアコンが設置でき、大変良い。

ただ、内容説明は、理解を求めるよう誠意をもって行う必要がある。



平成25年第1回臨時会
(平成25年2月20日)

議案 (議員提出)

◎ 阿久比町議会委員会条例の一部改正

◎ 阿久比町議会議務調査費の交付に関する条例の一部改正

◎ 阿久比町議会議規則の一部改正

常任委員会レポート

総務建設

新庁舎建設工事 実施設計から発注まで

当委員会に付託された
14議案を審議した。
議案第20号「平成25年度一般会計予算」では、新庁舎建設事業において、実施設計から発注に至る予算が組まれ大型予算となった。契約後の前払い金の内容や基本設計に対するパブリックコメントへの今後の対応など多くの質疑が行われた。

道路線の認定及び廃止について」は、認定に至るまでの経緯についての質疑が繰り返された。

審議の結果は、14議案とも原案通り可と決した。
(竹内一美議員)

議案第15号「阿久比町



基本設計における新庁舎予想図

文教厚生

インフルエンザ等対策本部条例制定

当委員会に付託された14議案を審議した。
議案の主な内容は、24年度一般会計補正予算、24年度介護保険特別会計補正予算、25年度一般会計予算、特別会計予算、インフルエンザ等対策本部条例の制定について等である。

一部会計においてはがん検診、太陽光パネル等についての質問があった。

また中学校プールの基本設計については、テニスコート西に造るとの回答であった。

インフルエンザ対策

本部条例についての質疑では、鳥インフルエンザ等の新型インフルエンザ等についての回答があった。

審議の結果13議案は賛成多数で全ての議案は可と決した。

委員会終了後、福住の宅老所、宮津の宅老所を委員全員で視察をした。

(都築重信議員)

また中学校プールの基本設計については、テニスコート西に造るとの回答であった。

インフルエンザ対策



英比保育園の竣工式での和太鼓演奏



澤田 道孝 議員

野犬対策と安心安全の行政は 捕獲と啓発活動を行う

最近、主に矢口・高岡地区において野犬が多数出没し、住民に被害が及ばないか非常に心配である。

また、産業廃棄物回収業者の処理施設付近に多数野犬が生息している。

問 本町は、どのような対策を講じてきたのか、また今後の対応は。

野犬対策のみならず、町長が町民に対して日ごろ安全安心の行政を行うとした施策と大きくかけ離れているように思われる。町長の施策を問う。

答 本町の野犬対策として、町所有の捕獲用檻5基を利用し、平成24年度は、21頭の野犬を捕獲している。

また、野犬対策の啓発活動としては、広報や回覧による住民への周知や餌付けを行わないようお願いしている。

矢口の産業廃棄物中間処理場の中に野犬が入らないように、塀の下を塞ぐよう連絡をした。

白沢地区の町道認定は 道路築造工事である

問 白沢字豊石山における道路築造工事は、都市計画法29条違反、及び宅地造成法違反、また、本町土壌汚染防止条例に違反していると思われる。

地方公共団体が法律違反に加担することは許されず、本工事によって築造された道路を町道認定することはできないと思うが。

答 この道路築造は、地元区長より行き止まり道路の解消に向けた要望書の提出があり、道路地権者からの寄附採納願があったものであるから、都市計画法違反でない。

観光事業の成果と今後の課題 観光資源のPR、イベントへの参加に努め

問 本町の産業観光課の推進について、その取り組み内容と成果を問う。

答 平成24年4月に産業課に観光係を設け、産業観光課と改めている。

業務内容は、地域の観光関連団体・組織と連携した活動のほか、観光協会の事務局として町内観光資源のPR、イベントへの参加に努めている。

保育園・幼稚園の園児数の推移は 平成28年度にピーク



辻 忠男 議員



増築された宮津保育園の保育室

問 シミュレーションの最終報告内容は。

答 中間報告と推計数値に変更はなく、5歳以下の児童数は平成28年度にピークとなる。

問 他市町の幼稚園への入園者（ここ数年）は何か。

答 平成20年度33人、平成21・22年度は29人、平成23年度53人、平成24年度52人である。

問 城山保育園希望者と今後の見通しは。

答 現在のところ7人の予定で、今後増加すると予測する。

問 自由契約児で断ったことはあるか。

答 入所を断った事例はない。

問 英・北原保育園の今後の見通しは。

答 今後の児童数の増加に対応するため休園とする。

問 大規模住宅地造成時に寄附金等はなかったか。

答 職員室の増設、外構整備の提供はあったが、寄附金は受けていない。

防犯灯の設置は

必要な場所に

必要な数を

問 ①横松交差点から半田市、長根の手前までの道路に防犯灯がないが、設置の見通しは。

②県道の照明灯は、交差点・カーブ・橋だけで、防犯灯はほとんどない。町としての施策は。

③防犯灯は、電柱ごとに設置はどうか。

答 ①②③毎年、各地区の行政協力員からの申請により、県道、町道の区別なく、防犯灯新設基準に基づき、30基を、必要な場所に必要数を設置している。

いじめ・体罰対策は

温かな人間関係を築く

問 20数年前の阿久比中学校の体罰問題は、どのようにして解決できたか。

答 厳しく指導を行わざるを得ない生徒指導上の問題行動の予防であり、規律ある落ち着いた雰囲気のある学校作りで解決した。

問 行政・教員・保育士・父母を含めた「協議会」の現状は。

答 「阿久比町小・中・高生徒指導推進連絡協議会」と「いじめ・不登校対策協議会」で、行政、学校、保護者、地域の関係者が、生徒指導、いじめ・不登校の問題を協議している。

問 今後もいじめ・体罰が無いようにする対策はどうか。

答 いじめ予防の具体策は、教師と児童生徒、児童生徒同士の温かな人間関係を築くことである。



新美 秀夫 議員

矢勝川水系の防災対策は 溜池を適正に管理

所在地	溜池名	面積	水量	所有者
阿久比町	鎗場池	1.6ha	1.99万t	植・大古根
半田市	半田池	5.7ha	19.4万t	東部土地管理農業協同組合
	広脇池	5.4ha	5万t	半田市
	折戸池	4.5ha	10.1万t	半田市
	西午ヶ池	4ha	10万t	半田第二区
	東午ヶ池	3.3ha	9.4万t	半田市
常滑市	濁池	1.2ha	2万t	久米区

問 矢勝川水系にある主要な溜池名・面積・所有者は。

答 次の表のとおり。

本町は、地震・台風・水害の自然災害対策が特に必要である。自然災害対策は、行政と住民が真剣に取り組めば軽減できる。

問 主要溜池の管理は誰が行っているか。

答 阿久比町防災施設（溜池）管理要項第6条の規定により、防災溜池所在地区の管理責任者が行っている。防災交通課から連絡して水位調整をお願いしている。

問 半田池は本町の防災溜池となっていないが、なぜか。

答 半田池は、東部土地管理農業協同組合が水位調整を行っているので、本町の防災溜池としていない。

問 矢勝川上流最終点と半田池を接続している河川の管理者は。

答 半田池の阿久比町内の余水吐の下から22.6mの間が半田市、その下から中央の取水口からの水路合流点までの間96.5mが阿久比町の管理水路となっている。

問 植大地域の水害対策として、十ヶ川植大除塵機付近に排水ポンプを設置する水害対策について町の考えは。

答 排水ポンプの設置は、有効な方法と考える。平成37年に耐用年数を迎える阿久比排水機場の更新について調査を行い、事業の可能性について検討する。

事業仕分けの結果は

具体的に反映していく

問 昨年の8月に10事業の事業仕分けが行われ、判定結果が発表されたが、それぞれの事業仕分け対象事業が25年度事業に反映されているか。

答 意見を参考に、25年度予算・事業に反映できたものとしては、放置自転車対策事業では、鉄くずとして売却や処分費を所有者負担とすることを検討する。スポーツ村管理運営事業では、他市町より使用料が安価との指摘より、25年4月1日から施設使用料の一部を値上げした。

半田池



鎗場池



矢勝川



西狐谷池



十ヶ川





久保 秋男 議員

当初予算編成は

阿久比らしさ・参画と協働を基本理念

厳しい財政環境であっても、限りある財源を全職員の英知と創意工夫を結集し、住民ニーズの多様化に対応できる施策等が当初予算で編成されているか。

問 当初予算編成の基本的な考えは。

答 第5次総合計画の実現のため予算を編成した当初予算の重点施策は。

答 保育・教育環境の向上、防犯対策、新庁舎建設、住民税1%町民予算枠事業など。

問 過去3年間の町税の推移は。

答 平成25年度当初予算は、平成22年度当初予算に比べ2.5%増額となっている。

問 財源確保の取り組みは。

答 過去の実績等勘案し、地方交付税や国県補助金等、予測しうる最大限の額を見込んだ。

問 財政健全化への取り組みは。

答 新庁舎建設、中学校プール建設など大型事業が続くが、健全化判断比率は健全に推移する見込み。

平成23年度 財政健全化比率

(単位：%)

指標名	本町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－ (※1)	14.94	20.00
連結実質赤字比率	－ (※1)	19.94	30.00
実質公債費比率	3.7	25.0	35.0
将来負担比率	－ (※1)	350.0	－ (※2)

※1 赤字でないため比率は「－」表示

※2 財政再生基準が設定されていないため「－」表示

町制60周年記念事業は

住民・地域・行政が丸となつて

本町は今年、町制施行60周年を迎える。

町民の皆さんとともに祝い、活気のあるまちづくりの一步を踏み出す絶好の機会となるような事業展開になっているか。

問 記念事業の企画と実施方法は。

答 昨年各種団体、公募委員を含めた「町制60周年記念事業検討委員会」で事業の企画と実施方法を検討していただいた。

問 記念事業の予算は。

答 全体で33事業、事業総額415万9千円のうち実質増額分は26万9千2千円。

消防団階梯操法・田んぼアート・プレミアム商品券発行・山車まつりなど33事業

住民税1%町民予算枠事業は

町民の皆さんの思いを

住民と行政がそれぞれの役割と責任をもって協働しあう事業内容となっているか。

問 事業内容と実施方法は。

答 昨年9月の公開ヒアリング審査を経て、25事業が採択され10月15日号の広報あぐいや町ホームページによりPRしている。

問 事業予算の内容は。

答 アイデア事業7事業、総額280万1千円は、事業担当課で計上。コラボ事業18事業総額79万6千2千円は補助金として計上。



鈴木 一夫 議員

阿久比駅のバリアフリー化は

平成26年度に着工予定



ホームへ向かう階段（阿久比駅）

問 阿久比駅は、平成20年12月27日から特急電車が停車するようになり、現在では1日に5400人を超える利用状況のようである。

答 本町のバリアフリー化の取り組みは。

問 今までの経緯及び現状は。

答 阿久比駅のバリアフリー化の要望を、国土交通省、中部運輸局、名古屋鉄道(株)へそれぞれ提出した。

問 今後の見通しは。

答 平成25年度には、名古屋鉄道(株)が全体事業費の積算や事業内容についての協議を町と中部運輸局に行う。

問 平成26年度には、名古屋鉄道(株)が補助申請をし、工事着工を行う予定である。

答 実施となれば、事業費等の負担割合はどうなるのか。

問 国・鉄道事業者・町がそれぞれ三分の一負担となっている。

阿久比町橋梁の安全性は

平成33年度までに20橋を修繕

昨年12月2日に中央自動車道上り線笹子トンネルで天井板のコンクリートが130mにわたって落下し、本当に心の痛む事故があった。

問 現在の点検結果は把握しているか。

答 平成23年度には、橋梁20橋の点検調査を行い、平成24年度には、長寿命化修繕計画を作成した。

問 現状の修繕はどのようになっているか。

答 平成24年度には、植大橋、矢高一号橋を修繕、平成25年度には、卯坂二号橋・三号橋の修繕を予定している。

問 今後の修繕計画はどのよう対応するか。

答 長寿命化修繕計画に基づき、平成33年度までに20橋を修繕する。

幼保小中一貫教育の成果と今後

保護者・地域の参画と協力

学校・地域・家庭・行政が一体となって取り組んでいる、幼保小中一貫教育の成果と今後の課題について、教育長の考えは。

問 現状と課題は。

答 二度の全国発表会や町外教育関係者の意見を聴き改善した。

問 幼保小中に高校はどう対応するか。

答 あいさつ運動等様々な場面で連携している。

問 導入時の思いは。

答 入園前の家庭、幼稚園、保育園、小学校、中学校、の保育・教育に携わる大人が、一貫性のある子育て・教育を確立し

その他の質問項目

・新年度予算の骨子を伺う

椋岡5差路の安全対策は

西方向への直進規制が最善



杉野 明 議員

椋岡の5差路



プロジェクター
を用いた説明

この交差点の西側通学路は道幅が狭く、新聞店北側の道路が東西通行可能なこともあって大変危険。住民より歩道の拡幅や時間帯による車の通行規制等の改善を望む声が出ている。

問 この場所での交通事故発生件数は。

答 平成20年から平成25年までの事故件数は、15件。

問 歩道管理者に対して、拡幅等の要望を出しているか。

答 町としての改善策は。

歩道拡幅等の要望について、知多建設事務所へ要望したが、歩道の拡幅は、道路構造令に基づき不可能である旨の回答であった。

椋岡の交差点内を西に向かつて直進する車両を規制する方法が最善と考える。

矢勝川と植地区の環境は

検討会を開催

自然エネルギーの活用促進

太陽光パネルの設置

原発事故以降、国民の世論は原発に頼らない自然エネルギーの利用を求める方向へ向かっている。

各地の特性を生かした取り組みがマスコミで紹介されている。

問 阿久比町の取り組みの実態は。

答 太陽光発電等自然エネルギーの促進施策として、「阿久比町住宅用太陽光発電システム設置費補助金」制度を実施している。

公共施設への設置として、平成24年度に英比保育園に太陽光発電システムを設置した。

問 公共施設の屋根などを利用した、自然エネルギー活用の町づくりを目指してはどうか。

答 今後、「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」を利用し、新庁舎・多目的ホールに太陽光パネル及び蓄電池の設置を計画している。

彼岸花200万本が咲く矢勝川に多くの観光客が訪れるようになった。今後の町おこしにつながる取り組みについて、町の考えを伺う。

問 左岸と右岸の横断可能な飛び石や、沈下橋の整備はできないか。

新美南吉にまつわる河川整備はできないか。景観を充実させるような取り組みはできないか。

答 矢勝川の南北には、新美南吉記念館や権現山などがあり、矢勝川を渡る橋があれば観光客の利便が増す。半田市の呼びかけで、河川管理者である愛知県、半田市、本町の河川担当、観光担当と要望側を交え、検討会を開催している。

町としては、矢勝川の溢水など、水害の危険を防ぐことが一番大切と考えている。



沢田 栄治 議員

防犯カメラ設置ルールは 今後条例制定を検討

安全安心なまちづくりに貢献する手段の一つに防犯カメラが有効であり、各公共の場所や商業施設、駐車場にも防犯カメラが設置されている。
町として防犯カメラの設置について現状と、運用に関するルールを、どのように考えているのか伺う。

問 町として防犯カメラの必要性をどのように考えているのか、また今後どのような取り組みをして行くのか。

答 犯罪を未然に防止し、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために必要なものと認識している。

幹線道路、公園等に計画的に設置していく。



陽なたの丘中央公園

問 現在町内に防犯カメラがいつから、何処に何基設置してあるのか。
答 平成24年10月から坂部駅前1基、阿久比駅前3基、植大駅前1基、宮津公園に1基、いたちだ公園に1基、陽なたの丘に9基、合計16基設置している。
3月までに、さるこ公園に2基設置予定。

問 25年度予算に設置する予定があるのか。また設置場所はどこか。
答 主要交差点等に、6基、公園に3基予定している。
問 今まで犯罪事件等で警察にデータ提出により解決できた事例はあるのか。
答 捜査に関するもので、報告は受けていない。



植大駅前

問 防犯カメラ設置によってプライバシー侵害などの苦情の申告はあるか。
答 一件もない。

問 防犯カメラ設置についてルールがあるのか、どんな内容なのか。
答 阿久比町防犯カメラ設置要綱により、撮影された映像について、外部への提供を厳しく制限している。



阿久比駅前

問 今後防犯カメラの必要性が増し設置数が増えるようなら設置と運用に関する条例制定が必要と思うが、町当局の見解は。
答 今後条例の制定を検討する。

幼保小中一貫教育プロジェクトの評価と総括



渡辺 功 議員

町民全員が指導者に、まち全体が学舎に

まなびや

鳥居教育長は、平成17年4月に就任以降、「教育のまち阿久比」として新たな教育行政に着手。

幼保小中一貫教育プロジェクトを立ち上げ、8年間にわたる実践活動を展開するなど、本町の教育に情熱を注いでこられた。

教育全般について伺う。

問 「教育は情性の強い制度」で、簡単に変えることができないとの著書があるが見解を。

答 柔軟に変えていく教育こそ真の教育。

問 日本の伝統的な「家族」をどう復権させていくかが、これからの教育を考える上でのポイントとなっているのでは。

答 父母がうまく連動すること。

徳育分野

問 これまでの成果と課題は。

答 生命尊重と地域との協働である。

問 本町の道德教育は、どのように行われているのか。

答 幼保の道德的指導と一貫性を持った指導を進めている。

問 道德性意識調査（道德アンケート）は、実施する価値があるのでは。

答 定期的な実施は大切である。

問 阿久比中学校では、社会科の公民的分野の授業で「家族」の大切さをどのように教えているのか。

答 道德・家庭科で指導している。

阿久比町教育委員会

問 教育委員会のホームページをさらに充実させては。

答 充実を図る。

問 教育委員会は、十分に機能が発揮されているのか。

答 十分機能している。

幼保小中一貫教育

問 教育改革は、長い歳月がかかり地道な努力が求められるが、本プロジェクトを決意させたものは。

答 心豊かで逞しく、へこたれない人間を育てるため。

問 子供たちの生活改善や学力向上の取り組みは。

答 家庭学習と就寝時刻の啓発。

問 教師や指導者が、その生徒のために親身になり愛情を持って体罰を加えることも含め、体罰についての考えを。

答 罰は存在するが体罰は存在しない。

問 子を持つ親に対して、求めることは。

答 親の背を通して教える。

問 幼保小中一貫教育プロジェクトの評価と教育長としての総括を。

答 町民全員が指導者に、まち全体が学舎にと願う。



幼保小中一貫プロジェクト1年生部会（各学校の1年生を担当している先生方）



阿久比子育て10か条



大村 文俊 議員

高齢化対策のまちづくり

地域福祉計画の策定

高齢化対策を視野に入れた将来のまちづくりへの取り組みを伺う。

問 高齢化率の高い地区と低い地区での高齢化対策の取り組みの違いは。

答 高齢化率の高・低による地区への高齢化対策に違いはないため、健康づくり等の予防活動を重点的に推進する。

問 生き生きとした元気な地区であり続けるための取り組みは。

答 いきいきクラブによる「いきいきサロン」や「友愛活動」を積極的に支援する。

問 10年先を見据えて今から取り組みなければならぬ高齢化対策は。

答 今後も高齢化が進展することから、地域に着目した「地域福祉計画」の策定に取り組み、高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりを目指す。



於大公園(東浦町)にある健康遊具

3月11日を忘れない

防災講座の支援

東日本大震災を風化させることなく、教訓として減災に備えることが重要だと考える。

問 東日本大震災後、取り組みだことは。

答 「まず、逃げる」を基本とする全町内一斉の防災訓練を実施し、安否確認フラッグと救急医療情報キットを全戸配布、防災行政無線が聞き取りにくい地区の解消のために防災ラジオの販売をした。

問 昼間の地震発生を想定し、中学校と合同での防災訓練の実施は。

答 教育委員会と協議し、実施に向けて検討する。

問 自主防災会の取り組みのレベルは様々だと考えるが、地区ごとへの対応は変えているか。

答 各地区への防災出前講座等で、活動支援する。



津波で被害を受けた住宅

学校紹介

南部小学校

公共心を育む



道徳の時間

平成24年度南部小では、愛知県教育委員会より、道徳教育総合支援事業における推進校の委嘱を受け、子どもたちに公共心を育むために、心に響く道徳教育について研究してきました。
その一部を紹介します。

●道徳の時間の充実

子どもの本音を引き出す問いかけや効果的な板書について工夫しています。
一週に一時間の道徳を大切にし、「あぐい教育の日」には、全学級で道徳の授業を公開しています。

●きらめきタイム

帰りの会で、「きらめきタイム」と称し、子どもたちが友達の一日の様子を観察し、素晴らしい点を見つけ、帰りの会で発表し合います。
友達に認められ褒めてもらうことで、自己肯定感を高めるとともに、みんなのために尽くしたいという公共心を育てたいと考えています。

●ちょボラ（ちょこっとボランティア）

児童がみんなのためにできることを見つけ、委員会の仕事に関連させて呼びかけて行っています。
体育委員会の呼びかけによる運動場整備、総務委員会の呼びかけによるあいさつ運動、緑化委員会による落ち葉集め等、多くの児童が進んで参加しています。



ちょボラ（運動場の整備）

編集後記

桜の季節も過ぎ、一年中で一番暮らしやすい季節となりました。

本町は、人間で言えば還暦にあたる節目の60歳を迎えました。

その節目の年を多くの町民の皆さまとともに祝い、60周年を盛り上げていたきたいと思います。

私たち、議会だより編集メンバーの任期は、今回の157号をもって新メンバーと変わります。
2年間のご愛読ありがとうございました。

議会だより編集特別委員会

委員長 二井 登喜男
副委員長 沢田 栄治
委員 久保 秋男
委員 竹内 一美
委員 都築 重信

次回定例会

6月6日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎ 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ